



概要

システム監視ライブラリは、Windows 上のアプリケーションから、弊社 ATX マザーボードを監視する為のソフトウェアです。弊社 ATX マザーボードを Windows 上のアプリケーションから DLL をダイナミックリンクし、API をコールすることにより監視します。本ドキュメントは、Windows 上でシステム監視ライブラリを使用するための情報を掲載しています。

特長

- ウォッチドッグタイマ(WDT)の開始、停止、周期の設定をソフトウェア上で自由に設定可能です。
- WDT が指定した周期時間中にクリアされない場合、CPU リセット、または割り込みイベント通知のいずれかを選択可能です。
- CPU 温度、基板温度、メモリ周辺温度を取得可能です。
- あらかじめ設定しておいた基板温度上限値、基板温度下限値の超えた場合に割り込みイベントの通知が可能です。
- CPU FAN の稼動状況が確認でき、停止検出時に割り込みイベントの通知が可能です。
- マルチプロセスに対応しています。複数のアプリケーションからシステム監視が行えます。
- WDT、温度監視、FAN 監視、割り込みイベント通知のサンプルプログラムが付属しています。
- すぐに使えるユーティリティ(Interface Utility)が付属しています。

Interface Utility を使用することで、下記が可能になります。

※Interface Utility を使用するには、.NET Framework 2.0 以降が必要になります。

■Log

- ・ ログ情報のモニタ
- ・ ログファイルの設定

■WDT

- ・ WDT 関連のログ保存有効/無効設定
- ・ WDT の稼動状態の確認
- ・ 周期とアクションの設定、確認
- ・ WDT スタート、ストップ、クリア

■Temperature

- ・ 温度関連のログ保存有効/無効設定
- ・ 温度情報ログ保存周期設定
- ・ 温度情報モニタ
- ・ 上限値/下限値の設定、確認

■Fan

- ・ FAN 関連のログ保存有効/無効設定
- ・ FAN 状態モニタ

対応 OS

Windows 7
Windows Embedded Standard 7
Windows Embedded Standard 2009
Windows XP

対応言語

Microsoft Visual C++ 6.0, .NET 2002, .NET 2003, 2005, 2008, 2010
Microsoft Visual C# .NET 2002, .NET 2003, 2005, 2008, 2010
Microsoft Visual Basic 6.0, .NET 2002, .NET 2003, 2005, 2008, 2010

注意事項

—